

バラクーダスパイウェアファイアウォールはインターネットのネットワークとインターネットのネットワークの間に設置するゲートウェイ型のアプライアンスで、コンテンツフィルタリング、スパイウェアとウィルスのダウンロードの防止、スパイウェアを有する既知のウェブサイトへのアクセス、不愉快なコンテンツのフィルタリング、スパイウェアによるインターネットへのアクセスをブロックする機能を持ちます。また、バラクーダスパイウェアファイアウォールはスパイウェアが PC にダウンロードされる前にスパイウェアを検知しますので、ネットサーフィン環境を包括的に保護します。

1 はじめに

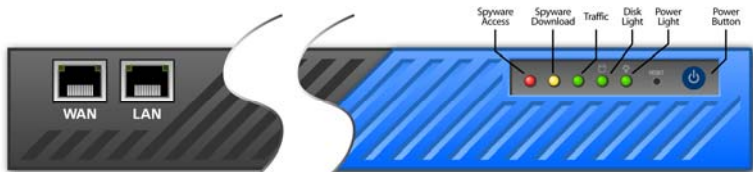
この資料はバラクーダスパイウェアファイアウォールの導入手順を纏めたものです。作業を開始する前にこの手順書を十分にお読み下さい。バラクーダスパイウェアファイアウォールの導入に必要な物は以下のとおりです。

- バラクーダスパイウェアファイアウォール
- AC 電源ケーブル
- カテゴリ5 イーサネットケーブル
- レールキット (モデル 610、810 限定)
- VGA モニター (推奨)
- PS2 キーボード (推奨)

2 物理的な導入

バラクーダスパイウェアファイアウォールの物理的な導入を行います。

1. バラクーダスパイウェアファイアウォールを 19 インチラックに設置するか、またはその他の安定した場所に設置します。
2. お使いのスイッチからバラクーダスパイウェアファイアウォールのフロントパネルにある LAN ポートにイーサネットケーブルを接続します。WAN ポートは基本的な設定が完了した後に接続します。
3. モニター、キーボード、AC 電源ケーブルをバラクーダスパイウェアファイアウォールに接続します。注意：AC 電源ケーブルを接続すると直後に電源が数秒間 ON になり、その後 OFF になります。
4. フロントパネルにある電源スイッチを押して、電源を入れます。



3

IP アドレスの設定

モニターを接続している場合、まず始めにブートメニューが表示され、ブート後に管理者コンソールのログイン画面が表示されます。

1. 管理者の ID/PASSWORD を用いて管理者コンソールでログインします。:

- Login: admin
- Password: admin

```
barracuda login: admin
password:
```

2. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバを正しく設定します。
3. 設定した内容を保存します。

モニターとキーボードを用いずに、フロントパネルにあるリセットボタンを一定時間押し続けることで下記の IP アドレスを設定することができます。

IP アドレス	秒数
192.168.200.200	5 秒
192.168.1.200	8 秒
10.1.1.200	12 秒

4

バラクーダスパイウェアファイアウォールの設定

バラクーダスパイウェアファイアウォールと同じネットワークに接続された PC からブラウザベースで以下の手順で設定を行います。

1. ブラウザのアドレスバーで <http://>に続いて「バラクーダの IP アドレス」、デフォルトの Web インターフェース http ポート「:8000」を入力します。バラクーダの IP アドレスが 192.168.200.200 の場合 <http://192.168.200.200:8000> と入力します。
2. ユーザ名: admin、パスワード: admin で管理者としてログインします。
3. 「基本設定」の「IP 設定」画面を開き、以下の手順を行います。
 - ドメイン設定: デフォルトのホスト名とデフォルトのドメインを入力します。ここで入力した内容が筐体からの通知メールに適用されます。
 - パススルー管理: はじめは「ソフトバイパス**」に設定します。後ほど、機能をオンにします。
4. 「変更保存」をクリックして、設定を保存します。

**注意: モデル 410 以上でハードウェアバイパスがオンになっていると、筐体の背面にある管理ポートからの管理しかできません。

ファームウェアの更新

1. 「高度な設定」の「ファームウェア更新」画面を開きます。
2. 「今すぐダウンロード」をクリックすると、ダウンロードの確認ウィンドウが起動しますので「OK」をクリックします。ダウンロード中にはバラクー

ダの電源を切らないで下さい。ブラウザを更新するとダウンロードの進捗が確認できます。

3. 「高度な設定」の「ファームウェア更新」で「今すぐ適用」をクリックします。ファームウェアの適用が完了するには数分間かかります。
4. 再起動の確認ウィンドウが起動しますので、「OK」をクリックして下さい。
5. ダウンロード適用後、再度ブラウザからログインし、リリースノート（機能追加、Bug Fix）を参照することを推奨します。また、ファームウェアの更新により機能が追加される場合がありますので、設定項目を確認することを推奨します。

6 管理者パスワードの変更

セキュリティ上、デフォルトのパスワードから任意のパスワードに変更して下さい。パスワードの変更はブラウザからしか行えません。

1. 「基本設定」の「管理者」で現在のパスワードと変更後のパスワードを入力
2. 「パスワードの保存」をクリック

7 エネルギー充填サービスの確認

「基本設定」の「ステータス」画面でエネルギー充填サービスが正常に提供されていることを確認します。「エネルギー充填サービス ステータス」でエネルギー充填サービスが「現在」になっていることを確認して下さい。エネルギー充填サービスが有効になっていない場合には、ご購入頂いた販売代理店までお問い合わせ下さい。

8 Inline Connection of Ethernet

今までの設定でバラクーダスパイウェアファイアウォールの基本的な設定は完了しました。内部のネットワークのスイッチに対して既存のファイアウォールから接続されているイーサネットケーブルをはずし、バラクーダスパイウェアファイアウォールのフロントパネルにある WAN ポートに接続します。また、先ほどまでファイアウォールに接続されていた内部のネットワークのルーター（またはハブ、スイッチ）とバラクーダスパイウェアファイアウォールのフロントパネルにある LAN ポートをイーサネットケーブルで接続します。（下記の構成図を参照）ここまでの設定が完了したら、「パススルー管理」画面に戻りバラクーダスパイウェアファイアウォールを「アクティブ」にします。

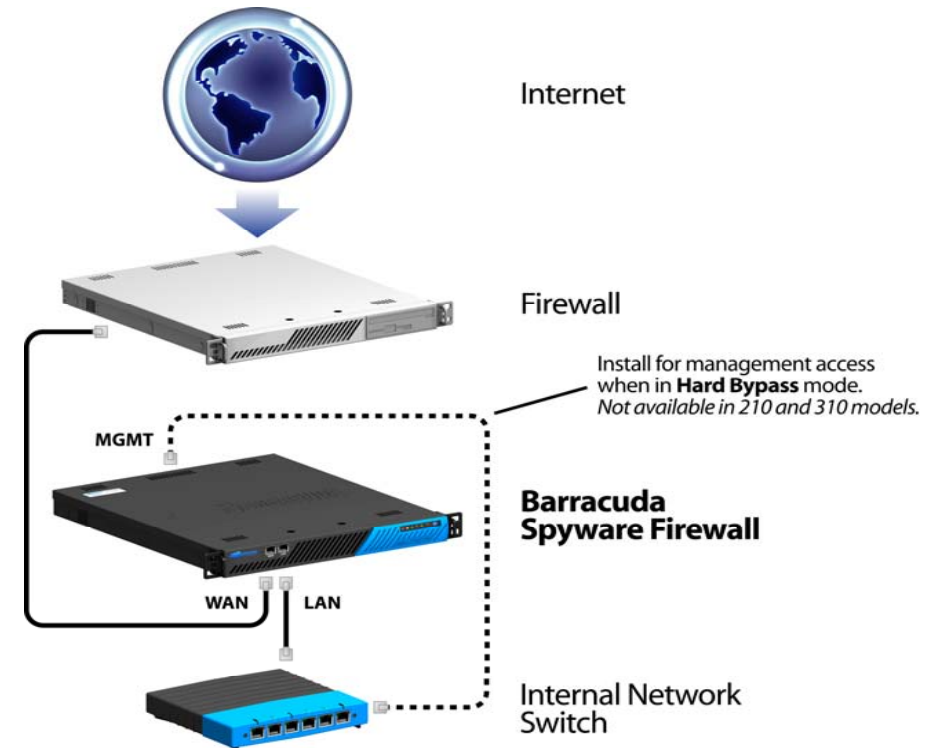
9 疎通試験

内部のネットワークにある PC のブラウザを起動して、ネットワークの疎通試験を行います。疎通確認ができたなら、バラクーダスパイウェアファイアウォール

ルにポリシーに沿った設定を行います。これでバラクーダスパイウェアファイアウォールの設定は完了です。

ユーザサポートサイト：

以下のサイトでバラクーダスパイウェアファイアウォールに関する FAQ と有用な情報を掲載しております。<http://forum.barracudanetworks.com>



****注意：モデル 410 以上でハードウェアバイパスがオンになっていると、筐体の背面にある管理ポートからの管理しかできません。**

著作権
Copyright 2005, Barracuda Networks
www.barracudanetworks.com

無断複写・転載を禁じます。本製品と本マニュアルをしようするために、ライセンスが必要です。本書に記載される情報は、予告なく変更されることがあります。

商標
バラクーダスパイウェアファイアウォールはバラクーダネットワークスの商標です。本書に記載されるその他すべてのブランド名および製品名は、個々の所有者の登録商標または商標です。